

第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
トウシヤダイガク	セイサクガクブ	カワグチゼミ
同志社大学	政策学部	川口 ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
チーム ザッソウ	イナガキ シオリ	4
チーム 雑草	稲垣 志桜里	

研究テーマ（発表タイトル）

性的マイノリティに配慮した取り組みに積極的な企業に対する認定マークの交付を目指して

1. 研究概要（目的・狙いなど）

「ジェンダー政策」として、性的マイノリティに配慮した取り組みに積極的な姿勢を示す企業の増加を図ることを研究目的とし、最終的に「ダイバーシティ・インクルージョン社会」の実現を視野に入れた政策提言を行う。

ここで定義する「性的マイノリティ」とは、レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（性同一性障がい者）という一般的に LGBT と称される方々のほかに、アセクシュアル（他者に対して恋愛感情も性的感情も向かない方々）等も含む言葉とする。また、「ダイバーシティ・インクルージョン」は一人ひとりが異なる存在として受け入れられ、全体を構成する大切な一人としてその違いが活かされている状態のことを指す。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

2019 年 5 月 17 日、台湾にて、同性間の結婚の権利を保障する特別法が可決され、同性婚が法的に認められる地域がアジアで初めて誕生した。最近では性的マイノリティの方を主人公としたテレビドラマが数多く放映され、高い視聴率を獲得しているなど、日本において性的マイノリティの方々に対する社会的関心は急激に高まっている現状にある。しかし、経済産業省が 2018 年 6 月 8 日に改定した、「ダイバーシティ 2.0 行動ガイドライン」では、女性や外国人労働者に向けられた政策が中心であることから明らかなように、政府および国が主導となった性的マイノリティの方々に対する具体的施策・認定制度はいまだに確立されていない。

現在、日本の企業内で性的マイノリティの方々が自分らしく働けるような職場環境を整備するために、認定 NPO 法人グッド・エイジング・エールを中心とした任意団体が「PRIDE 指標」と呼ばれる評価指標を策定し、毎年認定企業を輩出している。2018 年には 153 もの企業・団体から評価申請があり、年々応募団体は増加の一途をたどっている。

PRIDE 指標は、Policy（行動宣言）・Representation（当事者コミュニティ）・Inspiration（啓発活動）・Development（人事制度・プログラム）Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）といった明確な 5 つの評価指標をもって評価が実施される。5 つの指標のそれぞれの項目の基準を満たすと 1 点が授与され、5 点満点でゴールド、4 点でシルバー、3 点でブロンズと認定されることになっており、これらの認定ロゴは各社のホームページ、プレスリリース、名刺、採用パンフレットなどに利用可能とされている。

3. 研究テーマの課題

子育てサポート企業として厚生労働大臣から授与される「くるみん」などの認定マークに比べて、「PRIDE 指標」の認知度は圧倒的に低い現状にある。PRIDE 指標の主な対象である性的マイノリティの方々は、日本国内の人口の 8.9%のみであり、「くるみん」など他の認定マークよりもいわゆる「当事者」の方々の総数が少ないこと、加えて PRIDE 指標には英語が使用されていることから、老若男女問わず理解するのは少し困難であることなどが知名度の低さに影響していると推測できる。

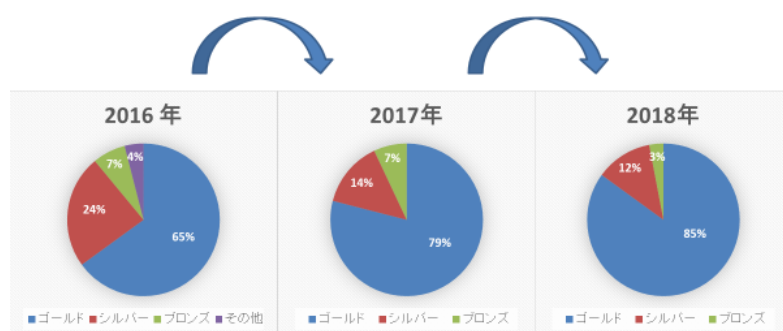
一方、電通ダイバーシティラボによる『LGBT 調査 2018』において、全国 20～59 歳の個人 60,000 名のうち、76.0%の人が LGBT という言葉の認識にとどまらず、「LGBT について正しい理解を深めたい」という意向を持っていることが分かっていることから、より分かりやすく性的マイノリティの方々に関する知識を深めてもらえるような取り組みは有効であると考えられる。

加えて、厚生労働省山形労働局の報道発表資料によると、認定企業の 9 割が「くるみん」の効果を実感しているというデータがあり、「くるみん」を商品や求人広告などにつけ、子育てサポート企業であることを PR できることで、企業イメージの向上、従業員のモラル向上やそれに伴う生産性の向上、優秀な従業員の採用と定着につながっていることが明らかになっており、認定マークの影響力の強さを伺うことができる。真に誰もが働きやすく生きやすい社会を形成していくには、日本で活躍するありとあらゆる企業が、従業員や就職活動に取り組む学生、転職希望者などに対して、ダイバーシティを遵守しているということを認定マークの利用をもって広くアピールする機会を設ける必要があるといえるだろう。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

調査結果を踏まえ、私たちは性的マイノリティの方々に配慮した取り組みに積極的な企業に対する統一認定マーク「たまむし」の作成と普及を提案する。PRIDE 指標における各賞の受賞割合の年次推移データを見て、日本企業の性的マイノリティの方々に配慮した取り組みに対する社会的関心、そして認定マークの知名度を向上させるためには、ゴールド・シルバー・ブロンズといった壁を取り除き、誰でも分かりやすい統一マークを作成すべきであると考えた。評価基準は PRIDE 指標を受け継ぐような形で明確な評価基準をもって評価し、PRIDE 指標における「ゴールド」に与えられる点数を得られた企業にのみ、「たまむし」が授与されるようにすることで、認定マークとしての希少価値を高めることにする。また、幸運を呼ぶとされている昆虫の玉虫をモチーフとし、背中に多様性を示す虹色をペイントしたデザインの「たまむし」は、「た：多様な性」と「ま：真正面から」「む：向き合う」「し：印」という思いが込められた認定マークであり、パッと目を引くようなデザインに仕上げた。

各賞の受賞割合の遷移
(2016年～2018年)



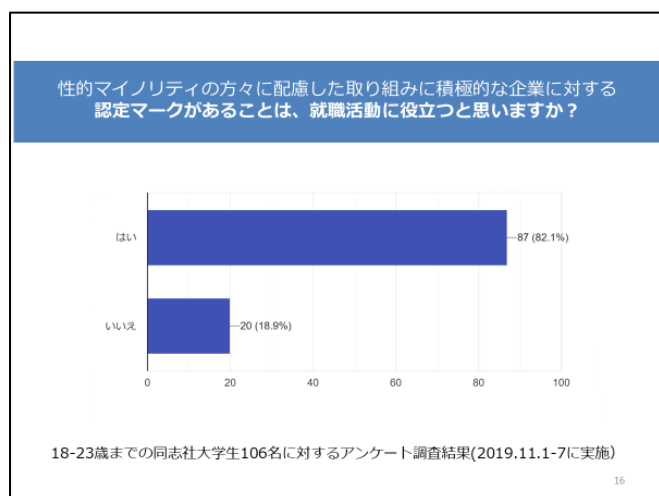
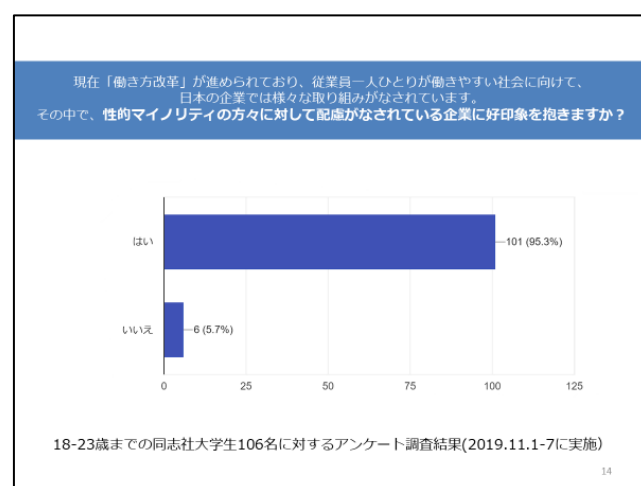
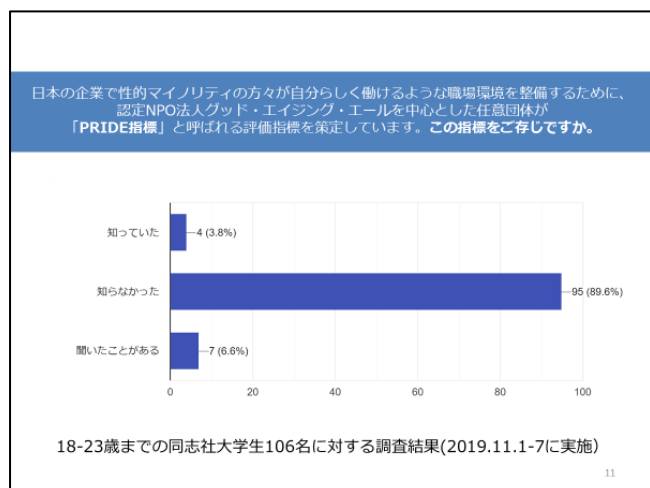
「たまむし」



10

この「たまむし」普及に向けて考えている施策は大きく二つある。1 つ目は、政府公認の認定マークとすることでさらに普及の後押しを実施すること、2 つ目は「たまむし」認定企業の製品に「たまむし」シールの貼り付けを行い、性的マイノリティの方々に対する社会的関心の向上を図ることである。2 つ目の政策は、「たまむし」認定企業と要相談ではあるものの、企業が自社のダイバーシティ推進に関する政策について、広く社会にアピールできるだけでなく、私たち消費者も「たまむし」を通じて、多様な性への関心を高める機会になるのではないかと考えている。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）



「性的マイノリティの方々に配慮した取り組みに積極的な企業に対する意識調査」

調査対象：18～23歳の大学生 107名

調査対象エリア：同志社大学

調査時期：2018.11.1～7

調査方法：google フォームを用いたインターネットアンケート調査

PRIDE 指標 2018 の表彰制度でゴールドを獲得した複数企業に対し、電子メール・電話を通じて聞き込み調査を実施した。大手飲料メーカーの「キリン株式会社」様のご回答では、PRIDE 指標でゴールドを受賞された際に生じたメリットについて伺うことができた。社内のメリットとしては、PRIDE 指標を受賞したことが社内にも還流され、社員全般の性的マイノリティに対する理解の深化につながっただけでなく、性的マイノリティ当事者が「ありのままの自分」として力を発揮しやすい環境づくりを推進することができたこと、そして、多様な顧客の思いをさらに汲み取り、寄り添う姿勢をもった社員の育成につながったなどのご意見をいただいた。社外におけるメリットとしては、採用活動や購買活動において、より多様な顧客からの支持を得られるようになったことを感じられている様子だった。このことから、明確な評価基準をもって交付される認定マークは、多くのメリットを企業に与えていることが判明した。

また、前述した課題解決策として挙げた「たまむしマークの普及」については、製品のラベルなどへの貼り付け等を実際に実施すれば、企業・消費者双方においてメリットがあると考えられる、という私たちの政策に対する前向きなご意見をいただくことができた。

6. 結果や今後の取り組み

今後の取り組みとしては、「たまむし」普及に向け、デザインや使用用途を始めとする「たまむし」に対する企業様からのご意見を募りたいと考えている。また、これまでに自社製品のラベルにマークや懸賞シールを貼って販売された経験をお持ちの企業様に対して、売上数が通常の時と比べてどのくらい増加したのかということ、もし政策を実施する場合、出資してくださる可能性がどれくらいあるのか、というデータも収集する必要がある。加えて、日本企業におけるダイバーシティ推進に注力されている経済産業省の方に、性的マイノリティに配慮した取り組みに積極的な企業に対する国の認定マークの設置を提言したいと考えている。

7. 参考文献

- ① 日本経済新聞『台湾、同性婚を合法化 アジア初 蔡政権、若者の支持でこ入れ 2019/5/17』
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO44934760X10C19A5FF8000/> (参照 2019/10/26)
- ② 経済産業省『ダイバーシティ 2.0 行動ガイドライン』 (参照 2019/10/26)
<https://www.meti.go.jp/press/2018/06/20180608001/20180608001.html>
- ③ GEWEL『ダイバーシティ&インクルージョンについて』
<http://www.gewel.org/d-i/> (参照 2019/10/26)
- ④ 日本労働組合総連合会 (参照 2019/10/26)
『LGBT に関する職場の意識調査 ～日本初となる非当事者を中心に実施した LGBT 関連の職場意識調査～』
<https://www.jtuc-rengo.or.jp/info/chousa/data/20160825.pdf>
- ⑤ 厚生労働省山形労働局 報道発表資料『認定企業の 9 割が「くるみん」の効果を実感』平成 28 年 3 月 22 日
<https://jsite.mhlw.go.jp/yamagata-roudoukyoku/library/yamagata-roudoukyoku/info/koyou/pdf/h27/201603230930.pdf> (参照 2019/10/26)
- ⑥ work with PRIDE ホームページ『PRIDE 指標』
<https://workwithpride.jp/pride-i/> (参照 2019/10/26)
- ⑦ work with Pride 事務局・広報 栗原 進『PRIDE 指標 2019 説明会資料』(参照 2019/10/26)
<https://workwithpride.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/PRIDEINDEX20190529.pdf>
- ⑧ 電通ダイバーシティ・ラボ『電通 LGBT 調査 2018』(参照 2019/10/26)
<https://dentsu-ho.com/articles/6435>

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

特になし

●発表時に使用する成果物 (例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート)

「たまむし」マークシールを貼り付けたペットボトル・アルミ缶の例

【企画シート作成上の注意】※「第 10 回 西日本インカレ (合同研究会) 大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年 3 月に公開予定の「日経ビジネス電子版」にリンクされた特設サイトに掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更 (チームの人数・交代など) は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先 (使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など) を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

↑ここまでを 4 ページ以内に収めて、提出してください↑